

サポセン mail No.204. 2021. 12. 2 発行

〈発行元〉 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町 2-21-684-101 TEL&FAX 043-377-8490
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konjiki.jp/

たくましい男の子たちが どんどん掘ってくれたよ!

10月31日に「お芋ほり」を予定していましたが、朝から時折ぱらぱらと小雨がぱらつき随分悩んだ結果、11月3日（祝）に延期としました。そのため参加が難しくなった方が多く、参加者は残念ながら子ども3名（2家族）となってしまいました。子どもが3名ではきっと



時間がかかりお昼までに終わるかな・・・と覚悟しながら参加しましたが、そんな心配はいりませんでした。いつのまにかたくましくなっていた男の子3名が

大きなスコップでガシガシと里芋やさつま芋を掘り返してくれて、用意したブルーシートの上に次々



とお芋が並びました。

人参はするっと抜けるので楽しそうに3人で抜いていました。

しかし、さつま芋はその後もしノシシ（アライグマ?）がきて食べていたようで、かじられたものも多く、焼き芋にできそうな大きなものは4本ぐらいになってしまいました。

最後にはいつものようにメダカなどを探したりしてあそびました。



（記 安藤）

ほっかほっかの焼き芋は

あまくておいしかったよ！



11月21日の日曜日 曇り時々晴れ。高田町内会館で「あそび塾 焼きイモ」を1年越しで開催しました。久々の野外活動でお手伝いの声をかけたところ、青年と大人がたくさん参加してくれました。

すあ

ま、ハリー、あやみちゃん一家、わたちゃん夫婦、うっちー、サマー、川本さん、大多和さん、大塚さんご夫婦と久々のお顔が集まりました。あそび塾 OB の中学生も二人参加してくれました。まず恒例の自己紹介をして、



さっそく昼食の芋煮つくりに入りました。いつものようにまき割り野菜切りを子どもたちをお願いしたところ、何とまき割りが



大人気。小5から小2まで青年の丁寧な指導でまき割りを経験しました。年長の子どものもどうしてもやりたいとのことで特別許可、青年と一緒にやりました。うっちーの指導が優しくとても微笑ましく映りました。ブロックと



鉄板で組んだかまどにまきをくべて、大きななべに火を入れました。まき割りを終えた子どもたちは調理のお手伝いのできのこをほぐす、コンニャクをちぎる、野菜を切る、あ



らかじめ下茹でしたサトイモの皮をむく仕事を分担しました。



それから焼き芋の準備です。サツマイモをしっかり洗って新聞紙でくるみ、水を吸わせてそのうえからアルミホイルで巻きました。芋煮は30人前を超える量です。途中で用意したまきがなくなるハプ





でもおいしくいただきました。汁まで残さず、完食でした。お椀に4杯もおかわりした子、「サトイモはあんまり好きじゃないけどこれはおいしいからたくさんたべちゃった」という子もいました。



お鍋を下したかまどには準備したサツマイモを入れて焼きイモを作りました。たくさんのおイモなので焼け具合と入れ替え、火の様子などおいしく焼けるようにかわいがりました。

お昼ごはんが終わったら後片付けをしてあそびの時間です。青年と一緒に猛獣狩り、鉄道建設をしました。つぎはしっぽ取りです。大人も参加して駆け回りました。しっぽを取りに走り回る子ども、自分の



しっぽを守りとおす子どもとそれぞれの個性が見て取れました。大人では徳永パパが颯音君をおんぶして大活躍でした。あそびの最後は子どものリクエストではないちもんめでした。青年もかなりご無沙汰のあそびだった

ようでうろ覚えの歌詞で始まりました。青年と子どもと同じくらいの人数構成になるようにチーム別れましたが、青年たちが子どもとの対決じゃんけんで負けるシーンがたくさん観られ、1チームの最後の砦もなくなる結末で、ジャンケンの勝負がつくたびに子どもたちの歓声が高田の空に響き渡っていました。元気に遊んでいるうちにたく



さんの焼きイモができあがりしました。さあ、焼きイモのおやつタイムです。並べられた焼きイモから好きなのを1本、小さい子どもから順番に選びました。焼きたてなので熱くてホクホク。大きくて、とても甘くておいしいおイモでした。みんなで焼きイモをもって集合写真を撮りました（大塚さん、ありがとうございます）。残ったおイモはみんなで

分けておみやげにしました。

今年の畑で収穫したサツマイモはイノシシの被害を受けてなんと4本、サトイモはたくさん獲れました。これでは焼き芋のサツマイモが足りないとSOSを出したところ、サツマイモを寄付いただきました大塚理事や三村さん。子どもたちといっぱい遊んでくれた「サマー、うっちー、わたちゃん夫婦、ハリー、あやみちゃん一家、すあま」、ありがとうございました。（記 山倉）

